

# 200、300、および500シリーズマネージドスイッチでのSNTP認証の有効化

## 目的:

ネットワークスイッチでは、システム時間はユーザが手動で設定するか、SNTPサーバから自動的に設定するか、またはシスコに関連付けられたGUIインターフェイスを実行しているPCから同期できます。SNTPサーバを選択した場合、サーバとの通信が確立されると、手動時刻設定は上書きされます。SNTP認証ページでは、SNTPサーバへの接続時に使用されるキーを設定できます。認証キーは、使用しているSNTPサーバのタイプに応じて、別のプロセスでSNTPサーバ上に作成されます。

この記事の目的は、SG200、SG300、およびSG500シリーズスイッチでSNTPネットワークタイム同期のためにSNTP認証を有効にする方法を示すことです。

注：SNTP認証を有効にするには、SNTPモードがすでに選択されている必要があります。詳細については、『[200、300、および500シリーズマネージドスイッチのSNTPサーバから自動的にシステム時刻を設定する](#)』を参照してください。

## 適用可能なデバイス:

- Cisco Small Business 200 シリーズ マネージド スイッチ
- Cisco Small Business 300 シリーズ マネージド スイッチ
- Cisco Small Business 500 シリーズ マネージド スイッチ

## ソフトウェア バージョン:

- 1.3.0.59

## システム時刻の設定 :

ステップ 1 : Web設定ユーティリティにログインします。デフォルトのユーザ名は「cisco」、デフォルトのパスワードは「cisco」です。

ステップ 2 : Administration > Time Settings > SNTP Authenticationの順に移動します。

SNTP Authenticationページが開きます。

SNTP Authentication

SNTP Authentication:  Enable

Apply Cancel

SNTP Authentication Key Table

Authentication Key ID	Authentication Key	Trusted Key
0 results found.		

Add... Delete

ステップ 3 : SNTP Authenticationの横にあるEnableチェックボックスにチェックマークを付けます。

SNTP Authentication

SNTP Authentication:  Enable

Apply Cancel

ステップ 4 : [APPLY] をクリックします。

SNTP Authentication

SNTP Authentication:  Enable

Apply Cancel

ステップ 5 : Addを選択して、新しいSNTP認証キーを追加します。

**SNTP Authentication**

Success.

SNTP Authentication:  Enable

**SNTP Authentication Key Table**

<input type="checkbox"/>	Authentication Key ID	Authentication Key	Trusted Key
0 results found.			

Add SNTP Authenticationウィンドウが開きます。

✦ Authentication Key ID:  (Range: 1 - 4294967295)

✦ Authentication Key:  User Defined (Encrypted)   
 User Defined (Plaintext)  (0/8 Characters Used)

Trusted Key:  Enable

手順 6 : Authentication Key IDフィールドに識別番号を入力します。

✦ Authentication Key ID:  (Range: 1 - 4294967295)

✦ Authentication Key:  User Defined (Encrypted)   
 User Defined (Plaintext)  (0/8 Characters Used)

Trusted Key:  Enable

手順 7 : 認証キーのオプションボタンを選択し、表示されたフィールドにキー名を入力します。

Authentication Key ID: 12345 (Range: 1 - 4294967295)

Authentication Key:  User Defined (Encrypted)   
 User Defined (Plaintext)

Trusted Key:  Enable

Apply Close

オプションは次のとおりです。

- ユーザ定義 (暗号化) : クライアントとサーバ間の暗号化を提供します。
- ユーザ定義 (プレーンテキスト) - クライアントとサーバ間の暗号化なし

ステップ8: (オプション) この認証キーを使用してSNTPサーバからのみ同期情報を受信するようにデバイスを設定する場合は、Enableチェックボックスにチェックマークを付けます。

Authentication Key ID: (Range: 1 - 4294967295)

Authentication Key:  User Defined (Encrypted)   
 User Defined (Plaintext)

Trusted Key:  Enable

Apply Close

ステップ9 : Applyをクリックして設定を保存します。

Authentication Key ID: (Range: 1 - 4294967295)

Authentication Key:  User Defined (Encrypted)   
 User Defined (Plaintext)

Trusted Key:  Enable

Apply Close

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。